

議長	事務局長	次長	係長	係員
			一	

復命書

令和4年8月18日

三沢市議会議長 堀 光雄 殿

移住・定住促進対策特別委員会

委員長瀬崎雅弘

副委員長佐々木卓也

委員船見昌功

委員小比類巻孝幸

委員田嶋孝安

委員澤口正義

委員堤喜一郎

副議長加澤明

随行者(議会事務局)

議事総務係長白銀壯太郎

主事星佳奈美

令和4年8月8日から8月10日まで、島根県松江市及び出雲市において、当委員会の行政視察を実施したので、その概要について下記のとおり復命いたします。

記

視察概要－1【島根県松江市】

- 1 日 時：令和4年8月9日（火）10時00分～11時30分
- 2 場 所：松江市役所 本館3階 第1常任委員会室
- 3 対応者：松江市議会事務局 永井次長・牧田氏
同 産業経済部 定住企業立地推進課 上係長・岩田氏・新田氏
- 4 観察項目：移住・定住支援施策について
- 5 観察概要：

(1) まつえIT女子インターンシップ・プログラムについて

○事業概要

県内在住の情報系学部・学科以外の女子学生（対象：島根大学・松江高専・島根県立大学）及び県外の教育機関に在籍する情報系学部・学科以外の女子学生（島根県出身）を対象として、IT業界・IT産業施策・プログラミング言語「Ruby」の教育用プログラムを学ぶインターンシップ・プログラムを実施。

○狙いと期待する効果

IT業界との接点づくり・業界イメージの払しょく・就職までの導線設計を狙いとし、「文系学生採用意向の地元IT企業に対応」、「就職時の市内定着」、「IT業界の人材不足解消」により、IT業界を切り口に、若年層女性の定着を図り、人口流出に歯止めをかけることに期待。

(2) 出身学生とのつながり創出事業について

○事業概要

働き方や今後のキャリアを専門家から学ぶセミナー等を実施する「キャリアを意識したつながりづくり事業」や地域団体、地域プレーヤー及び関係人口との交流イベント等を開催する「ゆるやかなつながりづくり事業」を通して、将来的なUターン志向の増加に寄与することで、市内就業・定着を図る。

○目的と狙い

- ①出身学生との接点づくり…キャリアだけでなく、趣味やエンターテインメント要素など、多様なジャンルで接点づくりを行う。
- ②ふるさと再発見…高校時代につながりのなかった地域プレーヤーや、市内で先進的な事業に取り組んでいる大人との交流により、松江を見直すきっかけづくりを行う。
- ③キャリア形成…松江市と関係性のある市内外の起業家等と松江を通して交流し、就職に有利なスキルを得る事業を行う。

(3) テレワーク・デイズMATSUE事業（ワーキング ヘルスケア プログラムMATSUE事業）について

○事業概要

令和元年度に行ったテレワーク実証プログラムにより、松江市の豊かな自

然環境の中で普段通りに働くことで、ストレスやバイタルデータにおいて数値の改善が見られたことを科学的見地（島根大学人間科学部で分析）から実証されたことを受け、このプログラムに「観光」や「食」等の付加価値をつけた企業向けの松江滞在型テレワークプログラムをパッケージ化し、商品として販売することで、テレワーク実施企業を拡大させ、松江市への人の流れをつくる。

○目的と狙い

企業向けテレワークプログラムのパッケージ化による「松江発のビジネス創出」、テレワーク実施企業を拡大し、松江市への人の流れをつくることで「テレワーク者・関係人口の増加」、都市部IT人材と地元IT企業との協業による技術向上と域外業務による外貨の獲得で「基幹産業の成長（IT産業振興）」、これらに加え移住者の増加と企業誘致を図る。

6 各委員からの質疑：

船見委員Q：ワーキングヘルスケアプログラムMATSUE事業について、令和元年度の実証実験時から行政が密接に関わっていたと思うが、寝泊まりする場所も行政側で用意していたのか。

A：働く場所（松江駅前のお試しサテライトオフィス）の提供は松江市で行っているが、寝泊まりする場所は、参加者各自で確保しているだいている。

Q：市内にある古民家の空き状況を行政で管理し、それを活用してワーキングヘルスケアプログラムMATSUE事業の参加者を受け入れる考えはないか。

A：現状、松江市で古民家を整備するということは考えておらず、既に民間でコワーキングスペースなどの形で、古民家を改装して利用している状況である。

Q：ワーキングヘルスケアプログラムMATSUE事業について、令和5年度には「松江発テレワークプログラム」をパッケージ化し、販売を予定しているとのことだが、三沢市内から購入することもできるということか。

A：企業の考えにもよると思うが、市外からの購入も可能。

田嶋委員Q：ゆるやかなつながりづくり事業にある「同窓会」支援とは具体的にどのようなものか。

A：いわゆる高校のOB会のような「同窓会」は今回の対象からは外していて、首都圏等で組織されている「県人会」のような団体が行う事業の中で、島根県出身者をゲストで呼びたいとか、SNSを活用した広報をしたい等といった活動を支援することを考えている。あくまでも事務的な支援を想定していて、予算面での支援は今のところ考えていない。

Q：冒頭の松江市の紹介でも、著名な出身者がいらっしゃるとのことだったが、これまで実際に著名人が応援に駆け付けるとか、そういう事業はあったか。

A：私（上係長）が知る限りでは、そういう事業はなかったと思う。お笑い芸人のかまいたちの山内さんは同じ地区で3つ上の先輩だが、なかなか会えない。高校も同じで、それこそ高校の同窓会に来年呼ぼうか、という話になんて、所属事務所の吉本興業を通してスケジュールを押さえるのが難しい。

小比類巻委員Q：地元に18歳人口の受け皿を作るのが大事だと思うが、それに 対する取組はあるか。

A：市長がふるさと教育はグローバル教育を経て、違いがわかつてから「やっぱりあそこはいい街だった」とわかるという考え方もあり、あまり18歳で縛り付けるということは考えていない。今の学生は、地元にどういう仕事があるかをわかつていないう状況にあって、それを紙ではなく動画を使ってわかつてもらうことに力を入れている。

Q：今後のスケジュールとして、イベントを県内だけでなく広島、東京、大阪で開催となっているが、高校生はこういった都市に行く傾向にあるのか。

A：広島、大阪、東京の順で地元出身の学生がいる状況である。

瀬崎委員長Q：まつえIT女子インターンシップ・プログラムについて、なぜ女性だけに特化したのか。

A：出生率の低下に歯止めをかけるため、女性の流出防止に取り組む風潮があったと予想される。

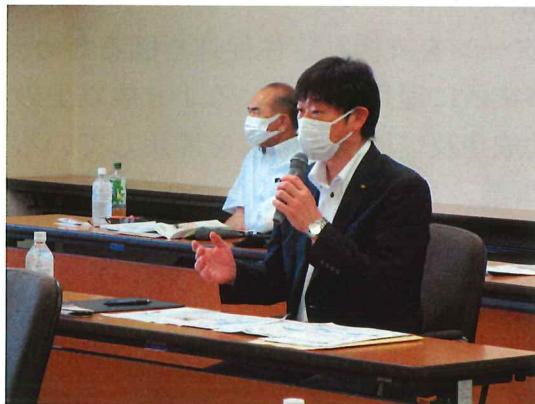
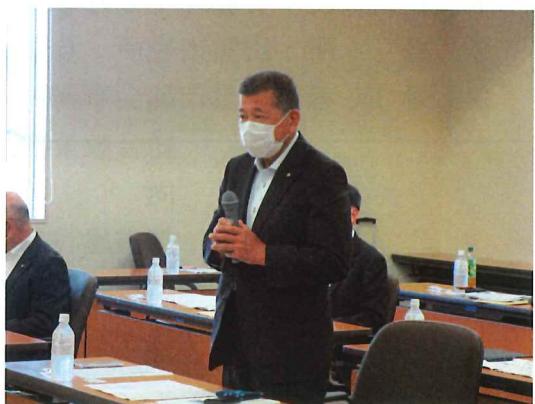
Q：まつえIT女子インターンシップ・プログラムの参考値として女子学生の1学年あたりの母数（島根大学400人、松江高専70人、島根県立大学：松江90人、浜田80人）があるが、この人数は県内の女子学生のみか。

A：女子学生の在籍者数で、県外の女子学生も含まれる。

瀬崎委員長Q：Ruby教育プログラムは順調か。

A：民間団体が毎年、県内40社ほどを対象に売上高や雇用人数をアンケートで調査しているが、売上高が右肩上がりの状況であることから、順調であると評価している。

7 観察の様子と議場での集合写真（松江市役所）：



視察概要－2【島根県出雲市】

- 1 日 時：令和4年8月9日（火）15時00分～16時30分
2 場 所：出雲市役所 6階 議会委員会室
3 対応者：出雲市議会事務局 今中次長・周藤主任
同 総合政策部 渡辺次長（縁結び定住課長・兼務）
同 同 縁結び定住課 山田課長補佐
同 都市建設部 建築住宅課 空き家対策室 小形室長
4 観察項目：(1) 縁結び定住課の取組について
(2) 空き家バンクについて
5 観察概要：

(1) 縁結び定住課の取組について

○事業概要

・出雲大好きIターン女性支援事業

県外から出雲市への女性のIターンを支援し定住促進を図るため、出雲市に移住（居住）し、出雲市内事業所に雇用されている18歳以上の独身女性に対し、引越し助成金、家賃助成金及び助成対象者を雇用している市内事業所に就業助成金を交付する事業。

年度ごとの実績	H29	H30	H31	R2	R3
助成額（千円）	10,758	7,935	9,038	14,107	16,578

・いざもで新生活応援事業

新婚世帯及び子育て世帯の県外からの移住・定住を支援するため、民間賃貸住宅の家賃の一部を助成する事業。新婚世帯は上限2万円／月、子育て世帯は上限2万5千円／月で、12か月が限度。【令和4年度新規事業】

・出雲市移住促進住まいづくり助成金

新婚世帯及び子育て世帯の移住、市が指定する自然豊かな地域への移住を促進するため、出雲市外在住者が出雲市へ定住する目的で新築住宅を建築、購入する場合に、固定資産税・都市計画税相当額の助成金を交付。

年度ごとの実績	H29	H30	H31	R2	R3
固定等助成額（千円）	2,578	2,644	2,098	3,378	4,201
リフォーム助成額（千円）	5,410	7,945	2,653	8,701	3,927
助成額 合計（千円）	7,988	10,589	4,751	12,079	8,128

・自然豊かな地域住まいづくり助成金

市が指定する自然豊かな地域への移住・定住を促進するため、定住する目的で当該地域内に所有する住宅をリフォームする場合、費用の一部を助成。

年度ごとの実績	H29	H30	H31	R2	R3
助成額（千円）	13,629	11,759	9,419	11,301	12,617

(2) 空き家バンクについて

○出雲市における空き家の状況など

- ・令和2年度に1,300～1,400万円ほど予算を使って全棟調査を行った結果、2,652戸の空き家がある状況。
- ・出雲市では定住者に対する様々な住宅の提供に注力する全国的な流れもあり、平成19年度に空き家バンクを立ち上げた。
- ・平成19年度の事業スタートから昨年度まで登録件数243件、成約件数187件。成約率は75%を超えていて、島根県内でも高い水準。
- ・現在の空き家の購入者は市内若しくは市外でも雲南市など出雲市から通勤可能な地域の方が多い。
- ・空き家の利活用を図るため、空き家の所有者に空き家バンクへの登録を勧めることに、現在市として力を入れている。
- ・空き家バンクの立ち上げにあたって、行政だけの力では無理な話で、相続・登記・画定・税務など様々な問題が発生するため、行政書士や司法書士などの力が必要不可欠である。
- ・NPO法人出雲市空き家相談センターに、行政書士、司法書士、土地家屋調査士、宅地建物取引士、建設業、不動産業、弁護士の方が会員として加盟しており、専門的な相談に対応している。全国的にも注目されている民間主導の空き家対策の取組であり、近年、視察希望も多い状況である。
- ・空き家バンクに登録したい所有者は、出雲市に申請。出雲市では、いざも空き家バンク（ホームページ）で空き家の金額や間取り、付帯条件といった様々な条件を公開し、ネットを見た方からの内見や購入希望の連絡を出雲市で受けるが、市で関わるのは内見調整までで、価格交渉を含めた各種交渉には関与しない。所有者と購入希望者とで空き家の売買が終わったら、ホームページから情報を削除する。
- ・出雲市には出雲空港付近の地域に村田製作所や富士通といった大企業があり、そこで働く外国人労働者（特にブラジル人）が多いことから、ブラジル人向けの空き家バンクのチラシをポルトガル語で作成し、日本人のみならず外国人にも周知を図っている。実際に、空き家の購入実績（昨年度は1件）もある。
- ・空き家バンクの運用を成功させるには、不動産業との連携と眠っている空き家を流通に乗せるため、所有者への需要喚起が非常に重要である。

6 各委員からの質疑：

佐々木副委員長Q：出雲大好きIターン女性支援助成金について、最終的には結婚支援といった「縁結び」のフォローをしているか。

A：特段フォローということは行っていないが、実際に結婚して定住につながっているケースもある。ディオッサ出雲という女子サッカーチームがあり、その選手が「Iターン女性」に該当するため、大人数に利用いただいている。

Q : 空き家バンクに関して、平成19年度の導入時には行政と民間どちらが主導で進めていったのか。

A : 元々は全国的な空き家対策の動向を受け、行政を中心に始まったものの、ここ5~6年の間に積極的に民間で団体を立ち上げて行政と連携し、空き家対策を進めていくという機運が高まり、現在に至っている。

小比類巻委員 Q : 出雲大好き I ターン女性支援助成金の対象者の条件について、「18歳以上の女性」というものだけか。既婚歴があったり、子どもがいたり、年齢の上限はないか。

A : たとえ離婚歴があったとしても、現在「独身」で、I ターンであればよい。

Q : I ターン女子への就労支援も行っているか。

A : 市のみならず県とも連携して就労支援を行っている。

Q : 具体的にどんな業種が増えたという実績はあるか。

A : IT企業系やお酒造りをやりたいなど、自分がやりたい仕事を求めてI ターンしてくる方がほとんどなので、そういう場で雇用がないかを調べ、繋げるように支援している。

澤口委員 Q : 自然豊かな地域住まいづくり助成金の交付実績の世帯要件に「三世代同居世帯・近居世帯」とあるが、これは「実家に帰る」というパターンが多いか。また、農村世帯と市街地帯とどちらへの定住が多いか。

A : 帰るからリフォームするパターンと、既に三世代で居住しているからリフォームするパターンのどちらもあった。また、定住地域については、市街地帯が多かった。

瀬崎委員長 Q : 様々な助成金を交付しており、年度によって実績額にばらつきがあるが、予算はどのように対応しているか。

A : 1,500万円ほど予算措置しており、実績見込に応じて減額。過去には予算額の超過を見込んで増額補正をすることもある。

Q : 松江市でも出雲市でも女性支援に特化しているようだが、出雲市ではなぜ女性支援に特化しているのか。

A : 女性のほうがブログの情報発信や写真の撮り方も上手で、出雲をよりPRできるという意味合いが大きい。また、ディオッサ出雲の女子サッカー選手を応援したいという面でも、女性支援に特化している。

7 観察の様子と議場での集合写真（出雲市役所）：

